

1. 学習項目

表とグラフ / 整理のしかた1

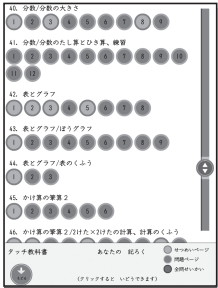
2. 本時の目標

- 資料を落ちや重なりがないように分類・整理する方法を知り、正しく効率よく整理することができる。

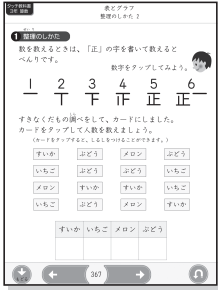
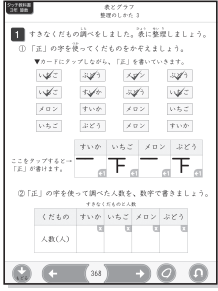
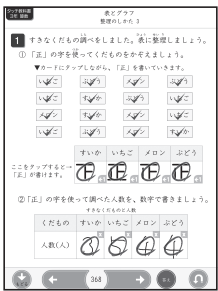
3. 本時の展開

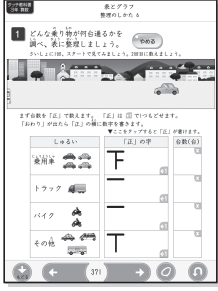
「タッチ教科書」をこの学習で使うポイント

- ・タブレットを使って学習することにより、興味をもって学習に取り組むことができる。
- ・資料を整理するときに、もれ落ちなく、重複なく数えるための工夫を順を追って学習することができる。
- ・失敗しても、やり直すことがボタン一つでできるので、失敗を恐れずに資料を整理する練習をすることができる。

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	この学習は、多くの資料を整理して全体の傾向を調べる時に、もれ落ちなく、重複なく数えるための工夫を、タブレットを使うことによって丁寧に学習し、身に付けることを目標にしています。  スタート画面  記ろく	「みなさんは、どんな果物が好きですか？」 「この学級で一番人気のある果物を調べてみたいですね。このように、たくさんのものを整理して調べる学習を、今日はタブレットを使ってします。」 「それでは、タッチ教科書の【記ろく】をタップして、42の2をタップしましょう。」	「みかんです。」「すいかです。」 「ももです。」「いちごです。」「ぶどうです。」 「タブレットを使うのは楽しみだな。」
見通しをもつ	 P.366 カードを動かして整理したところ	「16人の好きな果物調べをしました。どの果物を何人が好きでしたか？カードは動かせます。」 「そうですね。」 「どの果物が一番多かったですか？」	「じゃあ、カードを動かして、同じ果物を集めて、数えやすくしてみよう。」 「並べてみると、とても数えやすくなりました。」 「同じ向きに並べると、多い少ないが比べやすくなりました。」 「ぶどうです。5人いました。」

memo

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
見通しをもつ	 P.367 数字を6までタップしたところ	「では、次の367ページに進んでみましょう。」 「数を数える時は、漢字の“正”の字を1画ずつ書いて数えると、便利です。上の青い数字を1から順にタップしてみましょう。」	「5で正の字が1つできて、6からまた新しい正の字を書いていくんだね。」 「ということは、正の字が2つで10だね。」
	 すべてタップしたところ	「さきほどの好きな果物調べをこの正の字で数えてみましょう。下のカードを1枚ずつタップすると、カードに印がついて、一番下の表に正の字が1画ずつ増えていきます。」 「どの果物が何人でしたか？」 「次は自分で正の字を書いていきます。368ページへ進みましょう。」	「この方法だと、カードを動かさなくてもいいし、数え忘れや、2回数えることがなさそうだね。」 「最後の結果も見やすいわね。」 「すいかが4人、いちごが…。」
	 P.368 半分数えたところ	「いちごのカードを1枚タップする、表のいちごの所をタップする、正の字が1画増える。次のぶどうのカードをタップする、表のぶどう…。この繰り返しで好きな果物調べを表にしましょう。」	「カードに印がつくので、ゆっくりやると、数え間違いが起こらないね。」 「間違えても、カードをもう一度タップすると、印が消せるよ。」 「正の字の表を間違えた時は、←1ボタンをタップすると、1画減らせるよ。」
考える	 P.369 カバーをすべてタップしたところ	「369ページに進みます。」 「乗り物の台数調べをします。上の絵にはいろんな乗り物が描いてありますね。1台しかない乗り物は何がありますか？」 「数が少ないものは、まとめて“その他”として数えます。水色のカバーをタップしましょう。」 「まとめたことで、トラックやバイクよりも多くなりましたが、“その他”が多いわけではありません。」	「パトカーです。」 「バスです。」「救急車です。」 「パトカーや救急車はしょっちゅう見る乗り物ではないものね。」 「その他が多くなったよ。」

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
考える	 P.370 解答後答え合わせをしたところ	「370ページに進みます。」 「上の乗り物の台数を調べます。“「正」の字”のところをタップすると、正の字が1画ずつ書けます。終わったら、正の字を数えて、右の“台数”の所に数字で書きましょう。」 「できたら 答え合わせボタン をタップしましょう。どの乗り物が一番多いですか？」	「間違えないように、1台ずつ丁寧に。」 「今度は印が付かないから、左から順に、1台ずつ指で押さえながら…。」 「全部合いました！」 「バイクが4台で、一番多かったです。」
	 P.371 数えている途中	「371ページに進みます。」 「今度は、本当の道路のように、乗り物が右から左へ通りすぎます。どんな車が何台通るかを調べて、表に整理します。」 「2回目は本番です。乗り物の種類を見て、表の“「正」の字”のところをタップすると、正の字が1画ずつ書けます。終わったら、正の字を数えて、右の“台数”の所に数字で書きましょう。」	「本当の道路みたいで、楽しいね。」 「けっこうスピードを出しているね。」 「30秒ほどだけど、緊張するわ。」 「間違えてタップしちゃった。」 「でも ←1ボタン をタップすると、1つ戻せるよ。」
	 P.371 解答後答え合わせをしたところ	「できたら 答え合わせボタン をタップしましょう。どの乗り物が一番多いですか？」	「全部合いました！」 「乗用車が一番多くて、6台でした。」
	 P.372 解答後答え合わせをしたところ	「372ページに進みます。」 「好きな動物調べです。下の表に整理しましょう。」 「パンダ、コアラ、犬、うさぎを数えられたら残っている動物は何ですか？」 「それらの動物は、“その他”として、まとめて数えます。下の②でタップしましょう。」 「できたら 答え合わせボタン をタップしましょう。どの動物を好きな人が一番多かったですか？」	「動物をタップすると、印が付くから、分かりやすいです。」 「まずパンダだけをタップして…。」 「ライオンとゾウです。」 「その他は4人だね。」 「やった！正解！」 「パンダが10人で、一番多かったです。」
まとめる		「今日はどんなことを学習しましたか？」 「タブレットを使って学習したので、整理のしかたがよくわかりましたね。」 「これからも算数の学習をがんばりましょう。」	「たくさんものを数えて調べる時に、印をつけながら、正の字を書いて数えると、間違えにくいことを学習しました。」 「数が少ないものは、まとめて“その他”として数えることが分かりました。」